

# 医療安全トピックス TOPICS

Vol. 136

井上 純子

公益財団法人日本医療機能評価機構  
医療事故防止事業部医療安全課 課長

## 第67回報告書「医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) に 関連した事例」について

公益財団法人日本医療機能評価機構では、医療事故情報収集等事業（以下：本事業）を行っています。本事業では、医療安全推進のため四半期ごとに報告書を作成し公表しています。報告書では、当該の分析対象期間に報告された医療事故情報からテーマを設定し、過去にさかのぼって事例を検索し、分析しています。

本稿では、2021年12月に公表した第67回報告書の分析テーマで取り上げた「医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) に関連した事例」について紹介します。

### ●医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) に関連する事例

血管留置針や胃管などの医療機器、ギプス、シーネ、抑制帯などの使用により、皮膚に創傷が生じることがあります。これらの医療関連機器による創傷は医療関連機器圧迫創傷 (Medical Device Related Pressure Ulcer、以下：MDRPU) と呼ばれ、従来の褥瘡とは発生する部位や機序が異なり、新たな対策が必要であることから、近年、注目されています。

本事業には、2016年1月～2021年9月に、MDRPUに関連した事例が、85件報告されています。圧迫創傷の発生にかかわった主な医療関連機器を整理したところ、非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV) に使用するマスク (以下：NPPV マスク) や、患部

【図表1】圧迫創傷の発生にかかわった主な医療関連機器

目的	医療関連機器	件数
酸素療法・人工呼吸	NPPV マスク	13
	気管切開チューブ	5
	酸素カニューレ	3
患部の固定	シーネ	12
	頸椎装具	3
静脈血栓塞栓症の予防	弾性ストッキング	6
輸液	血管留置針	8
排液など	胃管、イレウス管	5
抑制	ミトン	3
その他	弾性包帯	3

(第67回報告書 図表Ⅲ-2-8(p.50)を一部抜粋)

の固定に使用するシーネなどの事例が多く報告されていました (図表1)。

### ●NPPV マスクの事例

NPPV マスクには、顔全体を覆うマスクや鼻と口を覆うマスク、鼻のみのマスクなどいろいろな種類があります。マスクの形状によって、MDRPUが発生する部位は異なりますが、鼻根部・鼻周囲に発生した事例が多く報告されていました (図表2)。また、マスクを固定するストラップが皮膚に接触してMDRPUが発生した事例も報告されていました。

NPPV マスクの事例の背景・要因は、栄養状態の不良、浮腫など患者要因の他に、マスクのサイズが